

# 常任委員会先進地視察報告

## 企画総務常任委員会



行財政改革の取り組みについて説明を受ける

### 行財政改革

視察地 福島県三春町

期日 10月11日、12日

視察先は、福島県三春町です。参加者は全委員、

事務局より関根事務局長の7名です。三春町は東北の玄関口郡山市に隣接し、平成17年10月1日現在人口1万9千197名、世帯数5千611世帯、面積

72・76平方キロメートルの自治体です。三春町では地方分権に対応するための行財政改革に早くから取り組んでおり、平成10年に「三春町行財政改革大綱」、平成16年に「三春町第二次行財政改革大綱」を策定し、それに基づいて次のような改革を行っております。11

課室を3部門制に統合し、各部門の内部もタテ割の組織から個人担当、個人責任のヨコの組織に転換しました。その結果、より分かりやすく、町民生活に密着した体制となりました。

我が伊奈町も急激に人口が増え、安全、安心な町づくりを行うためにも、行財政改革は進めなければなりません。非常に有意義な視察でありました。

(委員長 荒井敏男)



三春町役場前にて

# 文教民生常任委員会



保育行政について説明を受ける

### 保育行政について

視察地 福島県会津若松市

期日 10月16日、17日

10月16日、会津若松市役所にて保育行政について研修して参りました。当市では私立14、公立4の計18の保育所があります。

「多機能保育を展開」

各保育所ではそれぞれのニーズに合わせて5、6年ほど前から多機能保育を展開しております。一時保育は小学校就学

前の児童を対象に行う緊急保育と曜日指定保育があり、日額2千円で育児疲れ解消のためでも利用できるということです。さらに、午後7時まで



会津若松市役所前にて

預る延長保育は月極め2千500円、その都度ごとでは300～500円で利用できるとのこと。乳児保育は生後3ヶ月から実施し、集団保育が可能で日々通所を条件に障害児保育もあります。

その他、病後児保育、休日保育、特定保育等多彩です。

(委員長 青木久男)

このような個々の利用者のさまざまなニーズに配慮した多様な保育行政は、19年度に北保育所の新設で多機能保育を展開しようとしている当町にも大いに参考になるべきものと考えます。

## 建設産業常任委員会



商店街の活性化について説明を受ける

### 商店街の活性化について

視察地 山形県米沢市

期日 10月24日、25日

視察先は山形県米沢市。期日は10月24、25日。米沢市は人口9万2千

人余の城下町であり、多くの観光客が訪れる歴史のある街です。この街において商店街の活性化に向け、街を挙げて取り組んでいるイベントがある聞き、訪問しました。



米沢市を視察

この催しは毎月一度開催され、名称は「ドラマチック戎市<sup>えびす</sup>」。国道を通行止めにしての大イベントです。

詳細は、大テント市、大道芸、幼稚園児のマーチング、本場ブラジルのサンバパレード。特に、大テント市は地元だけでなく近隣市町村から誰でも参加できるようにしており、テントを確保するのに抽選会を開くほど盛況とのこと。他に、地

元特産品、民芸品、南三陸海産物等楽しいイベントが盛りだくさん。そもそもこのイベントの発案者は、商店街の冷え切った有様に、青年部の人が危機感を感じ、立ち上がったとのこと。

(委員長 矢部松男)

県・市・街・地域を巻き込んでの大事業であります。今後、街の活性化につながるよう努力したいと思えます。